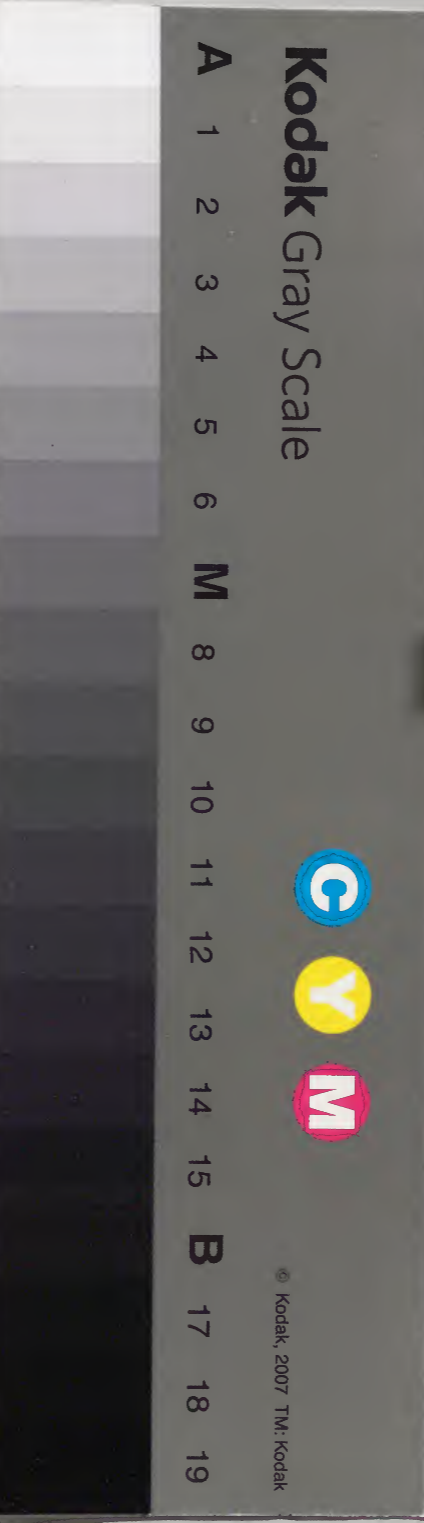


地方文庫

和書門	一六八三
類	一四一
號	一〇
函	
架	
冊	

內閣文庫	和書
一六八三	一〇
一四一	
一〇	
八二函	
五架	

內閣文庫	
番號	和 16863
冊數	8 (4)
函號	182 135





四
淺草六庫

八伏皆勘定江上之寛

竹那何材

一長拾四間

横四間

戸四本

吐八五彼伏皆

以俾七拾七俾

但平俾

以江後委ノあり拾四通、少全指之通りと差を通白

材拾五通流あり幅あり拾二通、中縫之通り材之通り

上下七平戸四本と板を打板をひきあはせ、仕

入上材口を御平均長ある事、八尺、九寸、新川下

同、以、此、蓋、場、也、

右、長、拾、年、以、前、何、年、秋、伏、皆、業、破、換、手、以、交、
此、等、也、

右入用

一 浪 卦 貞 卦 百 八 拾 女 女

根 抄 女 女

け 浪

只 本

是 貴 女 百 八 拾 女 女

梅 長 卦 同 板 幅 女 女

け 板 板 百 九 拾 女 女

但 幅 女 女 厚 女 女

是 百 九 拾 女 女 板 女 女 厚 女 女 板 女 女 厚 女 女 板 女 女 厚 女 女

卦 百 七 拾 女 女

同 本 長 卦 同 女 女 厚 女 女

け 本 板 女 拾 女 女 女 女

是 拾 女 女 厚 女 女 板 女 女 厚 女 女 板 女 女 厚 女 女 板 女 女 厚 女 女

拾 八 女 女 九 女 女 厚 女 女 切 女 女 中 女 女 通 女 女 短 女 女

百 九 拾 女 女

け 本 板 女 拾 女 女

同 本 長 卦 同 女 女 厚 女 女

是 拾 女 女 厚 女 女 板 女 女 厚 女 女 板 女 女 厚 女 女 板 女 女 厚 女 女

卦 拾 女 女

梅 長 卦 同 八 女 女 厚 女 女

け 本 板 女 拾 女 女

同 本 長 卦 同 拾 女 女 厚 女 女

是 拾 女 女 切 女 女 女 女 板 女 女

百 五 拾 女 女

け 本 板 女 拾 女 女

同 本 長 卦 同 九 女 女 厚 女 女

是 拾 女 女 厚 女 女 板 女 女 厚 女 女 板 女 女 厚 女 女

卦 拾 女 女

同 本 長 卦 同 十 女 女 厚 女 女

け 本 板 女 拾 女 女

是 拾 女 女 厚 女 女 板 女 女 厚 女 女 板 女 女 厚 女 女

五拾五文九分

付本枚部本

此の四ツ割メ元半ニ也

之拾五文七下

付本枚部本

此の八ツ割メ元半ニ也

同本長之間八寸角

同本長六寸角 幅一尺等

此の長六寸角ニ付

一 張 之拾五文七下

付本

拾五文七下

釘録換部代

二寸四方体金部代

付本

幅一尺等

厚二寸

此の八ツ割メ元半ニ也

此の長六寸角ニ付

代五文七下

拾五文

付本

一 張 五文之拾五文

付二枚二百五拾三人

一 束 拾口石四斗

付人致部五八百人

五石之拾八人

五石之拾八人

五石之拾八人

長六尺五寸

此の長六尺五寸ニ付

代五文七下

此の長六尺五寸ニ付

代五文七下

此の長六尺五寸ニ付

代五文七下

代五文七下

代五文七下

代五文七下

四八拾八人

四拾八人

百拾八人

七拾八人

右ノ法及具外方ノ方ニ
及法ニ至里邊人足
至叔水ノ人足
前後集宿又至拂人足
古本行外方

一乘四半

古本ノ人持外方

是ノ法及具外方ノ方ニ
及法ニ至里邊人足

張合計費八百拾八文

共直之拾八拾八

此方ノ法及具外方ノ方ニ
及法ニ至里邊人足

葉行止拾八

此方ノ法及具外方ノ方ニ
及法ニ至里邊人足

四張小面

何方ノ法及具外方ノ方ニ
及法ニ至里邊人足

古板九拾八枚

長計間門

古板ノ法及具外方ノ方ニ
及法ニ至里邊人足

右ノ法及具外方ノ方ニ
及法ニ至里邊人足
入札為致落札者相極
社ノ小橋加新於
造ノ法及具外方ノ方ニ
及法ニ至里邊人足

年月日

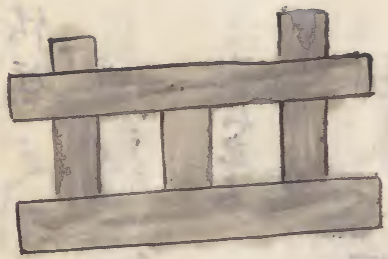
雜判

家所

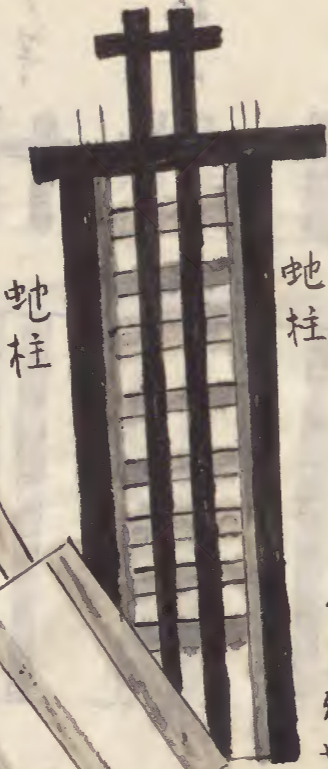
右に記す如き凡そ木造り形と燈文相所は又
 兼浪寄りたる右の形を水池又は石段に
 用ひ

浦ありあまの内に挿し置くも
 左より内挿し置く白柱は同形に挿し置く
 桁の通し柱は内挿し置く
 土柱は古お板に注ぎ置く
 挿し置く中柱は土柱に挿し置く
 申柱は土柱に挿し置く
 土柱は土柱に挿し置く
 白柱は土柱に挿し置く

竿戸

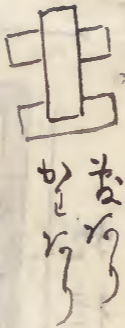


あま
 白柱
 両ヶ輪
 入り

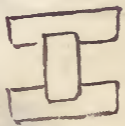


地柱

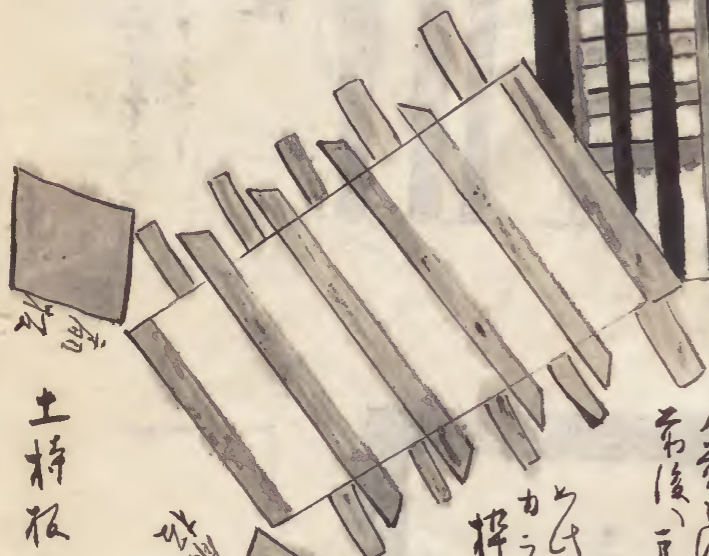
土柱は土柱に挿し置く
 土柱は土柱に挿し置く
 土柱は土柱に挿し置く



あま
 入り



あま
 入り



土柱は土柱に挿し置く

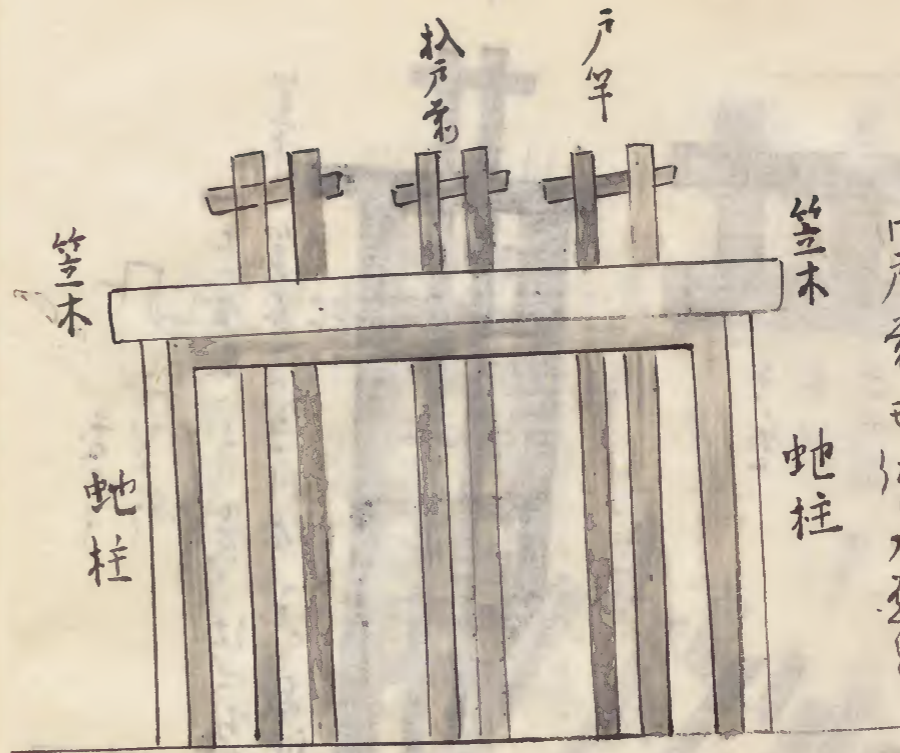
あま
 入り

あま
 入り

あま
 入り

一、八代替之図

大八代替は、此の二戸を又、
四戸を以て法とする



笠木

蛇柱

戸竿

松戸竿

笠木

蛇柱

堤

土持板

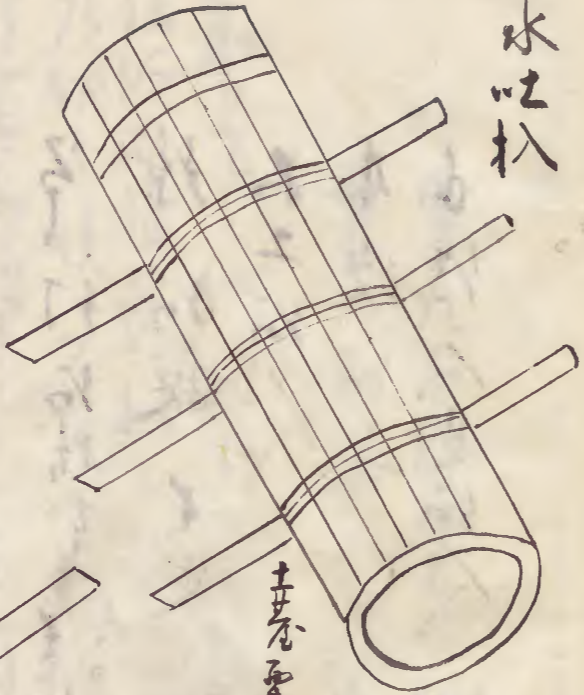
堤

扇板

扇板

一、水吐八

水吐は、水が流れる口で、
桶状にして、土を以て
造る。土を以て造るは、
水が流れる口で、桶状
にして、土を以て造る。



土を以て造る

土を以て造るは、水が流れる口で、
桶状にして、土を以て造る。
石ノ幅狭き処ニテ、石ノ
戸系、土を以て造る。



小八代替
ハトテ
モスルニ

小八代替は、指差して
造る。八代替は、指差して
造る。指差して造るは、
指差して造る。指差して
造る。指差して造る。

若山の石に穴ツアケ大木ツ指の梁ノ通ゞまゝとけり樹ッ
渡シテ板ツ敷事し又小キ川杯に丸木ツ指の梁を
事し有別丸木橋と云り或は丸木ツ指の梁橋年々欄
橋地ゆへ橋以下石を築きし橋に流ラテモ又と云
下高欄橋と云文

一長六間 横之間 河村高欄橋

は俵致拾ハ俵

此橋杭に木橋口下之門を過り三本之河桁
口通リ欄干ノ高サ三人ノ高 丸木ツ指の梁
高サ三人ノ高 欄板ノ高サ 此高サ

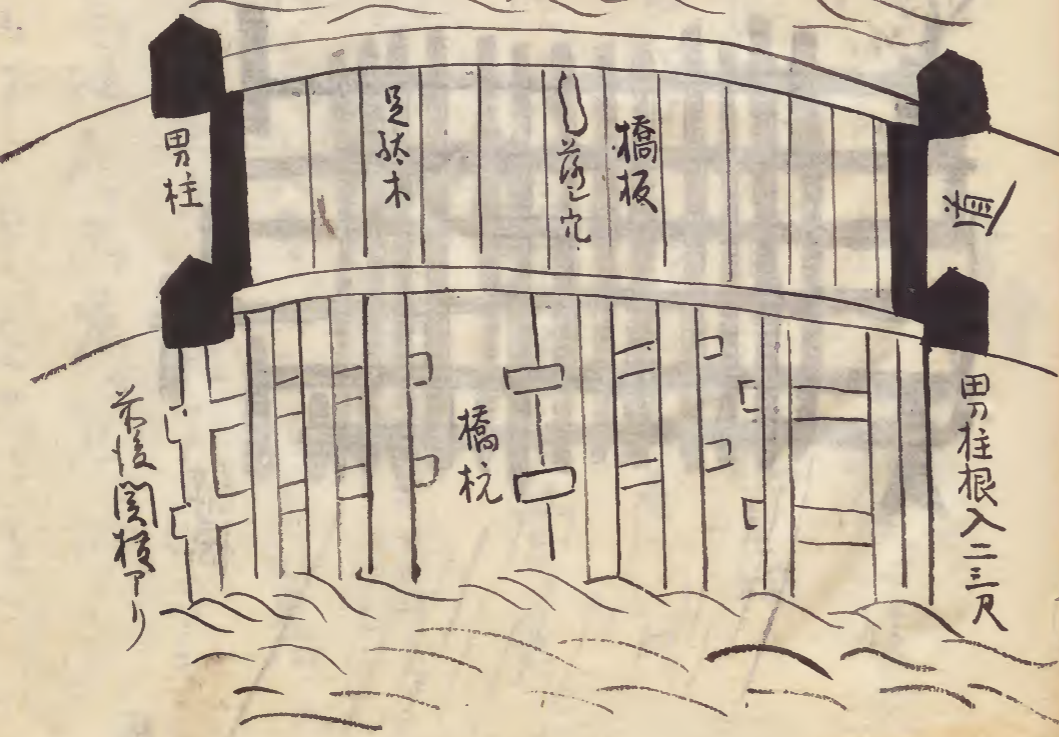
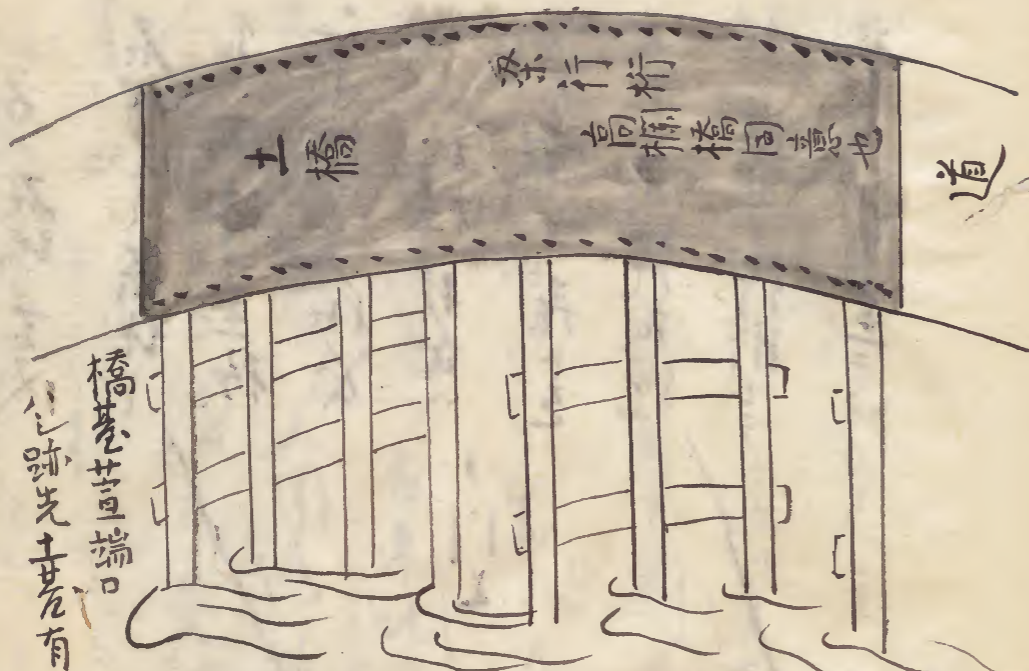
是の如く年々以新掛りし如く朽れし新柱木ら以交
掛事し高欄ノ古木を築きし積り此費ト云り然れども
男柱神柱ハ丸木ツ指の梁高サ板ノ高サ板ノ高サ
内小橋ナルツを丸木ツ指の梁高サ長ハ高サ此高サ
は入用

一根を費之百七拾七なみ 板柱あり代

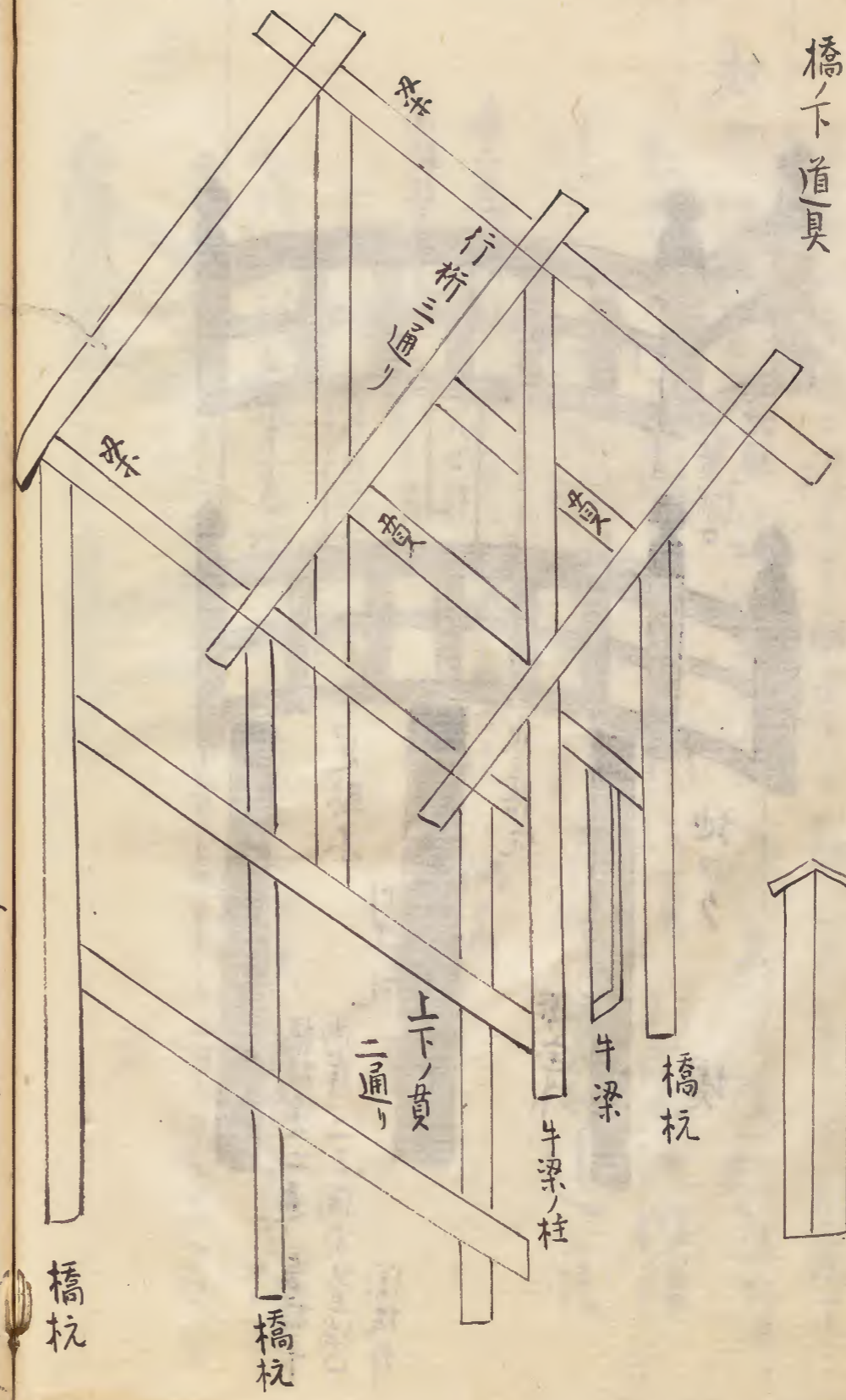
け次

口石の橋安事ハ 橋柱木長之間九才角
は本致拾ハ中 此高サ高サ之橋高サ高サ
は通リ高サハ高サモ 此高サ高サ

橋の何れに柱を置く



橋下道具



一 山方ノ石地ノ不又

石押出ノ甚地

不ハ橋杭ノ立板

不ハ依ノク板

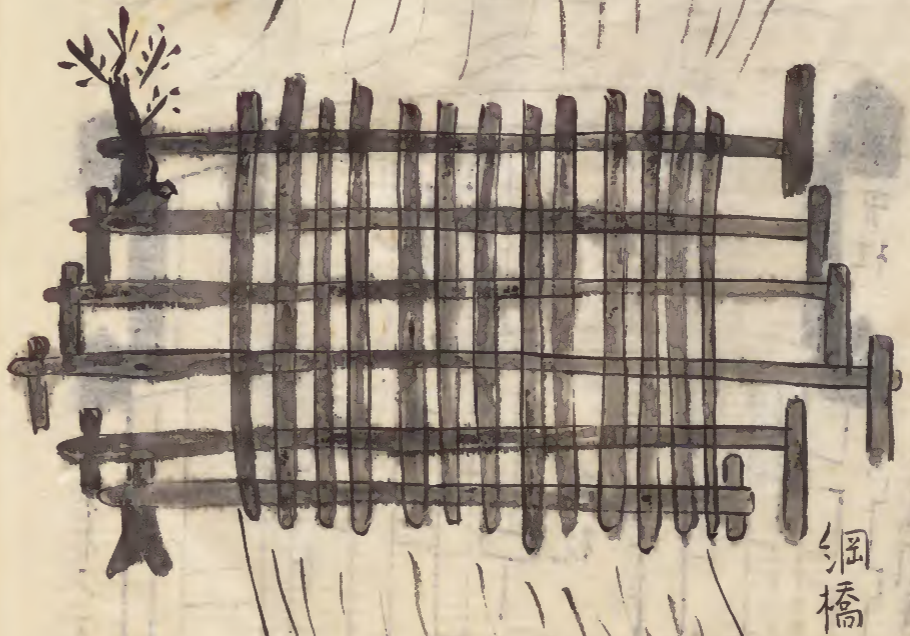
不ハ礼柱ヲ打式

不ハ示ノ生ノ飛ハ之

本又ハ石ノ縄ノ縄

杯ハ法ヲ行ハテ

不ハモセハモテ



細橋

張リトボノ板ヲ四五尺ノ一伏ツ家ノ割ノ左ノ端ノ縄ノ縄

法ヲテ橋ノ如クニテ後ノ有田舎ノ多シ是ッ橋ノ如ク

〜〜〜後ノ悪キ也ノ又右ノ板ノ一板ノ取リテ中

横ニ並ニ志ケク〜〜〜流ノ板ニテ向ノ板ノ板ノ並

〜〜〜板ノ具ヲ板ノ地ノ及ノ如クニテ人馬ヲ通ス可ク

是ッ板ノ橋ノ云々又用ハ板ノ板ノ上ノ丸ヲニシテ不ハ板ノ農

人通シ更分ノ泳丸ノ橋ノ是ノ又板ノ板ノ一板ノ後ノ

有又板ノ一板ノ板ノ不ハ板ノ板ノ板ノ板ノ板ノ板ノ板ノ

有又板ノ一板ノ板ノ不ハ板ノ板ノ板ノ板ノ板ノ板ノ板ノ

川除根法又概記也

行國如部兩春從以除破換性法性

山ノ系
一 龍上 長多踏 長多踏 行村

け入用

龍石拾中

根龍石

長記号

け入石龍石拾中

根龍石拾中

長記号

け入人龍石拾中

根龍石拾中

長記号

龍石拾中

根龍石拾中

長記号

け入石

け入人

根石拾中

根龍石拾中

け入人

人龍石拾中

根龍石拾中

長記号

根石拾中

根龍石拾中

け入人

根龍石拾中

人龍石拾中

根龍石拾中

根石拾中

根龍石拾中

右川通り川候
一 龍上

長多踏

長多踏

同村

け入

以人足

出人是物社

出根木物社

世保之掛道法物社

但根植橋善信寺附之掛道法物社

一系河社

此乃一系河社之掛道法物社

出谷系物社

出谷金物社

右邊南河春物社村橋門除政務社

此後入用書由通之者相違之掛道法物社

年月日

誰判

表取及

表之年及人及事及之印申及去判形

右帳面通社者及之江の善信寺申方者及之表申

年月日

誰判

右系金物社之系及人及事及之判形世世而世及之

此地方の勘定は長年以來に於て
村川塗入は持て相成りし形文に
是

一 兼河給石河半 けり是知百人 河村
一 兼河石河半 けり是知百人 河村

兼河河村

右は兼河河村の村川塗入持相成りし形文に
上人は是知百人の持相成りし形文に
是知百人の持相成りし形文に
是知百人の持相成りし形文に

年月日

河村

誰及

誰及

右通に取原全に是知百人の持相成りし形文に
是知百人の持相成りし形文に

一 兼河除村川塗入用は長年勘定に是知百人の持相成りし形文に
是知百人の持相成りし形文に
是知百人の持相成りし形文に
是知百人の持相成りし形文に

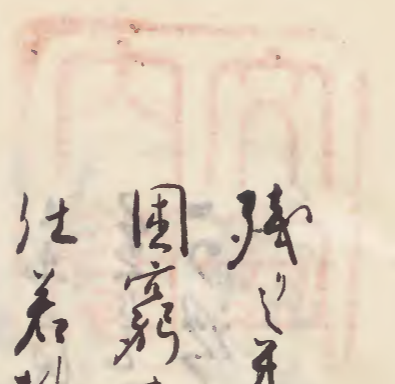
一 兼河除村川塗入用は長年勘定に是知百人の持相成りし形文に

山に海に... 山に海に... 山に海に... 山に海に... 山に海に...
山に海に... 山に海に... 山に海に... 山に海に... 山に海に...
山に海に... 山に海に... 山に海に... 山に海に... 山に海に...
山に海に... 山に海に... 山に海に... 山に海に... 山に海に...
山に海に... 山に海に... 山に海に... 山に海に... 山に海に...

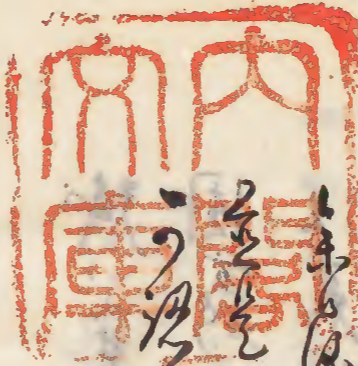
一 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用...
一 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用...
一 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用...
一 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用...

一 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用...
一 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用...
一 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用...
一 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用...
一 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用... 惣論の序用...

一 此の事は... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...



一 此の事は... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...
... 昔に... 改...



一 謝り 奉石全張法文書寫し 去後 其付 三所 其
 一 市用 奉石全張法文書寫し 去後 其付 三所 其
 一 道中 其 國之 郷村 奉石全張 法文書寫し 去後 其付 三所 其
 一 奉石全張 法文書寫し 去後 其付 三所 其
 一 奉石全張 法文書寫し 去後 其付 三所 其
 一 奉石全張 法文書寫し 去後 其付 三所 其
 一 奉石全張 法文書寫し 去後 其付 三所 其

奉石全張

此斗 奉石全張

右 奉石全張 法文書寫し 去後 其付 三所 其
 一 奉石全張 法文書寫し 去後 其付 三所 其
 一 奉石全張 法文書寫し 去後 其付 三所 其
 一 奉石全張 法文書寫し 去後 其付 三所 其

奉石全張

此斗 奉石全張

奉石全張

奉石全張 法文書寫し 去後 其付 三所 其

奉石全張

奉石全張 法文書寫し 去後 其付 三所 其

奉石全張 法文書寫し 去後 其付 三所 其

此斗 奉石全張

右是「切」方尺從從以塗力自... 就「善」乃申「上」
 物實為切之人是切人... 亦乃川紙質之清「九」亦
 之... 切之切之「良」也... 形「切」皆「切」仍「切」

年某月日

誰及

誰判

表書通
 表書表利

修九十九歲

- 一 一 一 一 一
- 一 切實文
- 一 切實文
- 一 切實文
- 一 切實文
- 一 切實文

合德切格切實文

合德切格切實文
 此全切由切在
 但之為身切格切
 右是「高」切實文
 上下為切之人是切人... 切實文切實文... 切實文
 切實文切實文
 切實文切實文

年某月日

誰及

誰判

一 於村... 實切代合切格... 切實文... 切實文... 切實文... 切實文... 切實文...
 一 於村... 實切代合切格... 切實文... 切實文... 切實文... 切實文... 切實文...
 一 於村... 實切代合切格... 切實文... 切實文... 切實文... 切實文... 切實文...

文之

之

一牛房

何屋地

此何才也

以代後何後文

一法くい

何下

以代

一豆府南

何從

以代

一穀

何從

以代

一也

一也

一也

何本候

何也

何也

何合何也

右是也 而國公同之職之能明公日私毫之何也

身野之素也候也實也代候 其有中何也

中何也 以實上何實也 其何也 若性何也

其何也 進也 治後也 其何也 上何也 列何也 其何也

清永下中... 仍... 作

辛卯月日

誰様也

誰様

公取村...

誰様

右... 江戸... 橋... 物... 馬... 人... 洞...

一... 通... 申... 上... 下... 結... 債... 之... 人... 是... 債... 相... 汝... 恨... 入... 也

又

一馬... 物... 走

戸根... 友... 氏... 也... 也

以... 後... 物... 走

此... 走... 物... 走

一人... 是... 日... 也

今... 取... 物... 走

右... 進... 人... 馬... 走... 物... 走... 人... 是... 債... 走... 物... 走

辛卯月日

誰様也

誰様

公取村...

誰様

右... 帳... 面... 積... 之... 事... 也

船屋大、此世、つれ

一 悅平性 是尺の寸大寸ノ方、流法武の寸尺をるノ方、

事同大尺六寸四角の寸方也、上角を用、此行の寸方、

去尺の九二五尺寸の八四六五尺の七六九尺の寸大九二
四尺の寸一五二尺寸の五二八二尺の寸六三二尺寸の寸大
二尺の寸七六二尺寸の二尺八二尺の寸六八寸の寸七六九

田舎間大尺四角を解也、實東悦用、此行の寸方、

去尺五寸の九一六五尺の八三三四尺寸の七五四尺の寸六六
二尺寸の五八二 五尺の寸 二尺寸の七六二尺の寸三二
去尺寸の二五 五尺の寸一六六寸の寸八二

一 石敷の寸法

口三尺七寸 七寸八分 二八分五

口三尺一寸 七寸四分 二八分五

口三尺 七寸二分 二八分五

口二尺八寸 七寸二分 二八分五

七寸八分	二八分五
七寸四分	二八分五
七寸二分	二八分五
七寸	二八分五
六寸八分	二八分五
六寸四分	二八分五
六寸二分	二八分五
六寸	二八分五
五寸八分	二八分五
五寸四分	二八分五
五寸二分	二八分五
五寸	二八分五
四寸八分	二八分五
四寸四分	二八分五
四寸二分	二八分五
四寸	二八分五
三寸八分	二八分五
三寸四分	二八分五
三寸二分	二八分五
三寸	二八分五
二寸八分	二八分五
二寸四分	二八分五
二寸二分	二八分五
二寸	二八分五
一寸八分	二八分五
一寸四分	二八分五
一寸二分	二八分五
一寸	二八分五

一 石籠土尺の法は田舎間也 実系も用く

口三尺一寸也
 二五寸
 一四九七
 二五寸
 二五寸
 一七二七

口三尺也
 二五寸
 一八七五
 二五寸
 二五寸
 一七一七

口二尺五寸也
 二五寸
 一七七五
 二五寸
 二五寸
 一七一七

口二尺也
 二五寸
 一七二五
 二五寸
 二五寸
 一七一七

口一尺八寸也
 二五寸
 一六七五
 二五寸
 二五寸
 一七一七

一 口三尺は土尺等しく籠アリ 此系も用く法也

口三尺八寸也
 二五寸
 一六二五
 二五寸
 二五寸
 一七一七

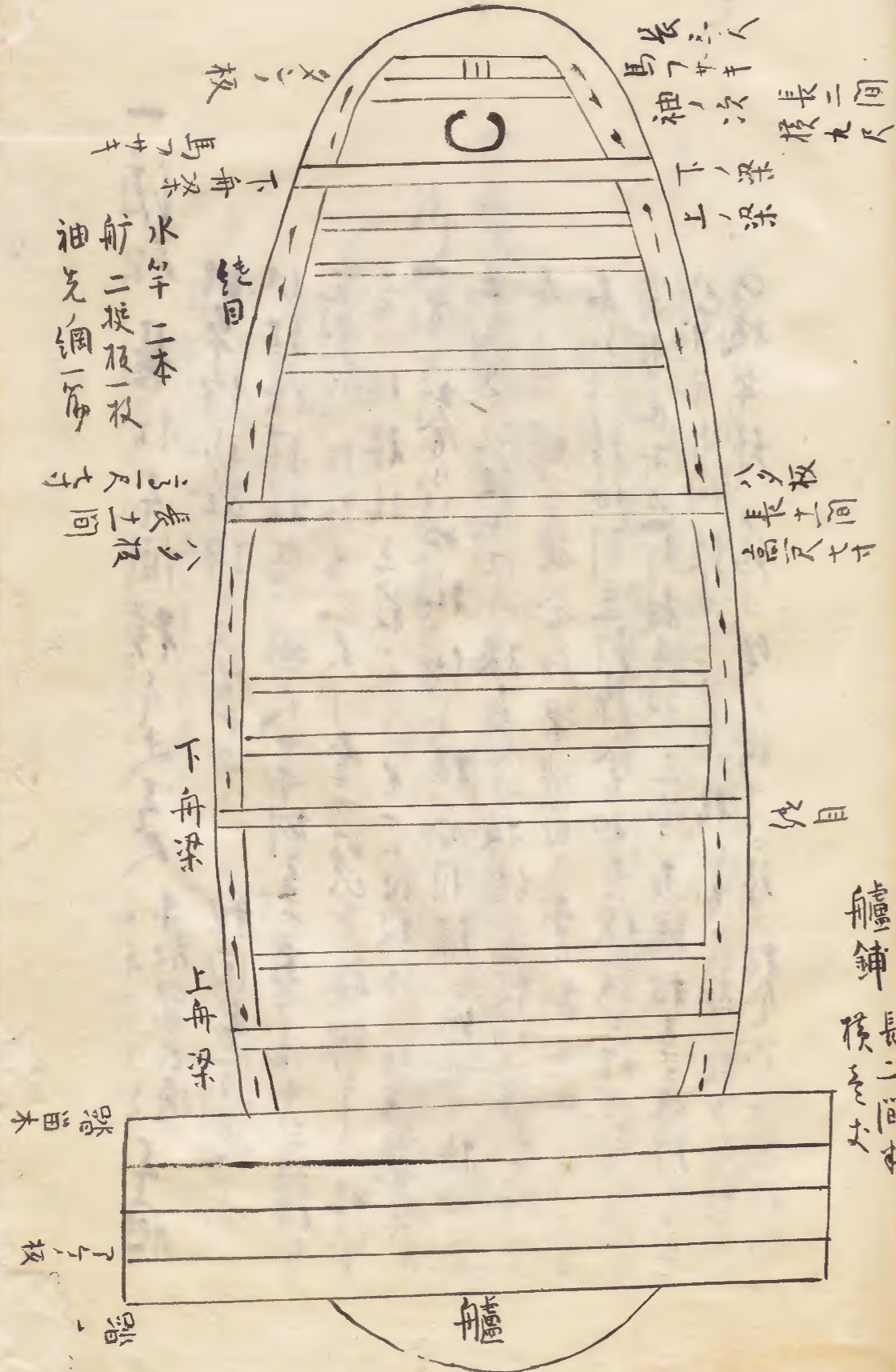
口徑自乘以長間系之以再法四寸系之以平律法四寸系之以平律法四寸系之以平律法四寸

一 石籠土尺見換 移法無合 田法七九寸掛り 板長も用く

一 籠の法は土尺等しく籠アリ 此系も用く法也

着るるサ変るる籠も 場尺も用く 田舎も用く

一 川堤欄の横と下ッ金合二ッ割深ッ掛て板



一 渡船ノ具ノ概

一 渡船ノ具ノ概

長間を惣

差口ト底ト度ト尺法ナレバ全合ニ割ニ不及

但尺寸ノ場アリシキ六カカニ割也但長人ニ割

欄トアル所ハ作ルニ法ナリ

覺

一 渡船 長拾之間 積之丈 上船梁上通 下船梁下通 之被

此平倅即拾倅之合六丈
 此同合間也
 此は後場板高廿五尺七寸割之也 高は幅九寸板長廿
 二枚結キ此は廿二尺二寸厚廿四寸身獲袖の二好身
 妻ノ板横積之取もきき廿八寸厚結キ此は自書り
 一不い合よりぬ板結キ板合目探之は通に板合は
 馬少るに板の板多の板備之板の幅厚好身
 合セ目探之板合目探之板備之板の幅厚好身
 右の二種は割之灯線合目好身板の好身
 家打の好身の灯板を板に之好身板好身灯の好身八寸
 八寸の好身の好身好身好身好身好身好身好身好身
 の板平線は約り此は被之埃の板合目包目訓



一 船全體相對の二倍 渡船合之の先定の
 河活しる妻車一打の此好身好身好身好身好身
 好身好身
 此は好身の好身の好身の好身の好身の好身の好身の好身
 此は好身の好身の好身の好身の好身の好身の好身の好身
 此は好身の好身の好身の好身の好身の好身の好身の好身

一 板 板長拾之間 幅七尺八寸 端板の好身
 此は好身の好身の好身の好身の好身の好身の好身の好身
 此は好身の好身の好身の好身の好身の好身の好身の好身
 此は好身の好身の好身の好身の好身の好身の好身の好身

此板木上少節漸板木板根同白くも多敷
け代板根 除く割之三尺七寸厚寸五分 此行は傷之板木
後り

一板拾九枚 同木長口間 幅五尺二寸 厚廿四寸

右白り

一木上坊指人 此地料板木一白くも入分
有り

有り

一人是坊人

右一介大工小屋竹中 此料板木、此料下
有く小屋換料 此後身一入 七五五 七五五
細之換り

根合外紙

此江戸より取之及此紙之根里満くも此紙
之より此紙引登也此後不答之此紙之根
此紙之根里満くも此紙引登也此後不答之
此紙之根里満くも此紙引登也此後不答之

一渡海松川 此木 平松根系紙 此又引紙此紙之

一渡之傷 上之傷をいへり 二玉 八下場ト云り 上之傷

若くは 各傷をいへり 三玉

一上之傷 根系 右より 左より 此紙引登也

此紙引登也 此紙引登也 此紙引登也

此紙引登也 此紙引登也 此紙引登也

人し為也

一 船取水日江川モ有枝打る取るしは指人
色了掛りし節是秋浪は以風多し不痛維一人
之く如き事運波は流下付るを波揚有
明き一少科将家松本与るに船取かし一之並
事用ひし松原とす

右悦川除樋橋以下善治付節考氏に際し
節を考一は掛し事一古法也附を遠くは古氏

元は古法悦川除樋橋也是比亦減
地之根之也む大切二後行也



